





### フルテック Evolution Speaker II

－ 196℃超低温処理&  
特殊電磁界処理 OCC 導体  
スピーカーケーブル

**税込価格 ¥41,800** 2.0m ペア

導体：α-OCC 導体 (6×20本/Φ0.18mm)  
撚合せ：2芯撚り合せ 外径：φ14.5mm  
端処理：YラグFP-218 (G)、バナナプラグFP-202 (G)

**資料請求先**  
フルテック株式会社 MJ7 係  
〒142-0041 東京都品川区戸越3-9-1 フルテックビル  
☎ 03-6451-3941 (代) <https://www.furutech.com/ja/>

**本**スピーカーケーブルは、フルテックのオーディオグレードケーブルの中でもリーズナブルな価格帯の製品であるが、実にハイエンドな仕上がりだ。

使用する導体は、独自のμOFC導体に－196℃の超低温処理と特殊電磁界処理であるαプロセス処理を施したα導体である。このφ0.18mm導体を20本束ね、1セットとした上で6セットをロープ状に撚って使用している(外径2.81mm)。さらにこの導体の絶縁体(導体被覆：赤、白)に特殊なポリエチレンを使用し、外径5.1mmの導体を構成。このホット・コールド用2本を撚り合わせ、その上に柔軟性PVCとナイロン糸編組で覆い、外径14.5mmの仕上げとしている(両端末線を除く)。両端の導体分岐点には新開発カバーを使用して安定した長さを保ち、ケーブルクランプ部に制振特性を持つ特殊金属を使用し、電磁振動を低減させている。

この構成で特に注目されることは、導体の絶縁体に特殊なポリエチレンを使用していることである。これはフッ素樹脂(たとえばテフロンなど)とほぼ同等の比誘電率で、高域特性に影響する静電容量が低くなるのである。したがって実際の本機の実性は、約48.2pF/m@1kHzという低い容量値を実現し、使用導体により5.4Ω/kmという低い抵抗値も実現した。

端末には、同社の非磁性金メッキ処理のY端子FP-218 (G) と、同処理で接触面積の広いバナナ端子FP-202 (G) を使用し、方向性としてはバナナ端



端末はアンプ側にYラグ、スピーカー側にバナナプラグが取り付けられているが、注文時に変更できる。

子がスピーカー側となる。

実際に使用して感じたことは、これらの技術が生かされ、高域から低域まで色付けの少ないワイドレンジかつ高速レスポンスの音質が聴けたことである。特に高域の伸びに優れており、使用したパワーアンプのダンピングファクターの高さを実感すると同時に、KEFのスピーカーがアップグレードされたかのような感覚になった。さらには、聴感上のS/Nが高まった印象も受け、録音現場の空気感や微細な演奏のさまを詳細に再現する解像度の高さも体験することができた。

高品位な仕上がりで採用された導体構成を考えると、きわめてコストパフォーマンスが高いと言える。バイワイヤリング接続で活用しても良いであろう。標準外のケーブル長やコネクターの変更も特注できるとのことである。(角田郁雄)